

流域治水の具体的な取組み内容

下記のとおり流域治水の具体的な取組み内容を報告します。

(企業等名称：佐川印刷株式会社)

目的や背景	<p>2018年7月、西日本豪雨により弊社の宇和島市にある事業所が被災しました。</p> <p>松山工場の旧浄化槽を雨水タンクに変更しました。</p> <p>被災前から見守りカメラ設置していましたが、カメラ角度など修正してより災害監視出来るようにしています。</p> <p>カメラ映像は、遠隔操作で関係者が状況確認できます。</p>
取組み内容	<ol style="list-style-type: none">1 雨水タンクの設置：5.0 m³、2010年2 水災害に備えた資機材の確保：ポリタンク等3 水災害に備えた見守りカメラの設置：32台4 防災士の取得：2名5 工場床嵩上げ：60cm、建設時
取組状況が分かる写真	 <p>↑ 雨水タンク</p>



↑ポリタンク



↑見守りカメラ



↑工場床嵩上げ

その他

日常の気象に関する情報（警報・注意報）に敏感に対処、行動するようになりました。